

学生視点に立ったシステム活用 と業務の見直し

～情報発信からのキャッチボール～

チーム 浜名湖の朝

～これから始まる大学の夜明け～

チームメンバー 役職一覧

浜名湖の朝課

- ・進行係長 山本 裕
- ・資料作成係長 川崎 清澄
- ・レポート担当係長 中島 祐介
- ・ホワイトボード主査 細川 智史
- ・浜名湖の朝 監査役 三津田 哲弘
- ・システム活用審議センター長 綾部さやか
- ・支配人 小澤 奈々子

【テーマ・(目的)】
学生視点に立ったシステム活用と業務の見直し
～情報発信からのキャッチボール～

【背景】
大学が提供するサービスや情報を確実に学生へ伝達する必要性
現状できていない状況がみられる

【解決課題】
システム利用率のアップ

【原因】

①情報の質

- ・先生が使っていない
- ・Webページに対して安心感が無い

②発信方法

- ・情報が分散している
- ・掲示板との共用ルールが無い

③学生スキル(環境)

- ・情報の使い方がわからない
- ・メリットがわからない
- ・PC操作が苦手
- ・パソコンを持っていない

④手間がかかる

- ・PC起動からログインまでの手間
- ・ID/PWを何種類も必要とする

原因の掘り下げ

①情報の質

学生から見て使っている先生と使っていない先生がいる
Webページに対して安心感が無い

②発信方法

情報が分散(部署間縦割り、業務のスクラップ&ビルドが出来ていない)
掲示板とweb配信の共用ルール設定できてない

③学生スキル(環境)

情報の使い方がわからない
メリットがわからない
PC操作に慣れていない・苦手
パソコンを持っていない

④手間がかかる

PC起動からログインまでに時間がかかる
ID/PWを何種類も必要とする

解決策

①情報の質

- ・学生個人宛の情報提供(適切な対象者への情報提供)
- ・部署間での情報発信のバランス
- ・基準のマニュアル化(レベル分け)

②発信方法

- ・発信方法の統一

ICT(部署間を越えたポータルサイト及び連携の携帯サイト・メール配信)

③学生スキル(環境)

- ・初年次教育、必修課目での学習(ガイダンスetc)
- ・意識付け(リテラシー・社会人基礎力)
- ・環境の整備(パソコン用の無線LAN)
- ・学外からのアクセスも可能にする
- ・専門職員(臨時職員・学生アルバイト)
- ・電話問い合わせ

④手間がかかる

- ・機能画面の集約
- ・学校PCのスタートページにポータルサイトを設定
- ・シングルサインオン

解決策のまとめ

■中長期計画

- ・業務システムの見直し
- ・初年次必修科目「情報・システムの活用講座」導入
- ・教職員の導入説明会の実施
- ・部署間の連携強化による情報の共有
- ・費用対効果の見直し・洗い出し(可視化)
- ・学生の利用メリットを増やす(出欠状況を確認できる等)
- ・学生がシステムの接点を持てるような空間をつくる
- ・web上で目安箱のような意見を集約できる仕組みづくり

・・・等々、早期解決が難しいものばかりですが

明日から出来ること

- 一、難しい言葉は使わないこと！相手の立場にたった会話をする！
- 一、普段の会話の中にシステム的话题を盛り込む！
- 一、システムの入り口への誘導を工夫する！
- 一、他部署の基礎情報をつかむ！間違った誘導を行わない！
- 一、学生視点に立って業務を見つめなおす！結果、教職員の活用意欲を促す！
- 一、PDCAサイクルのチェックを定期的に行う意識を持つ！